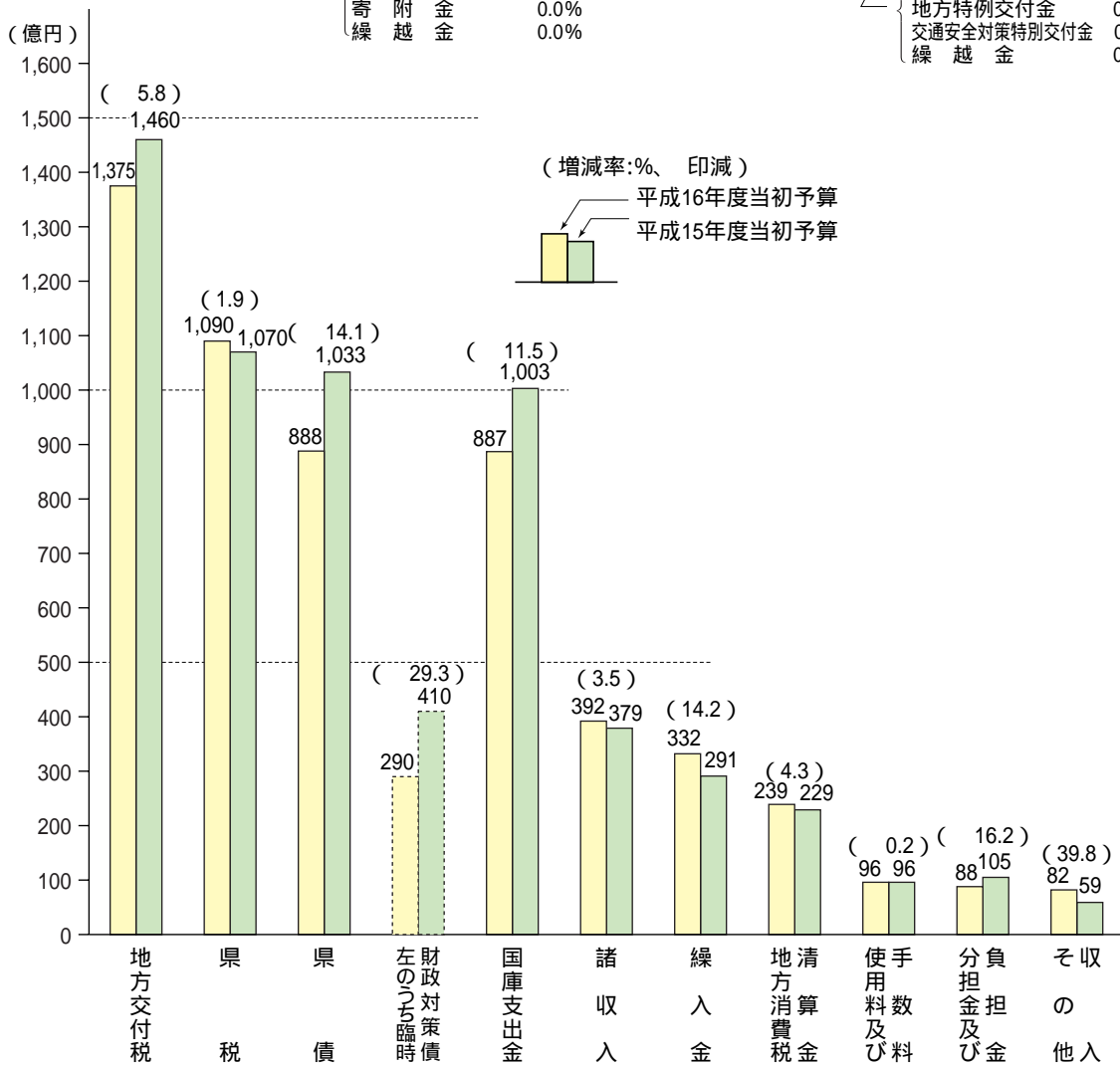
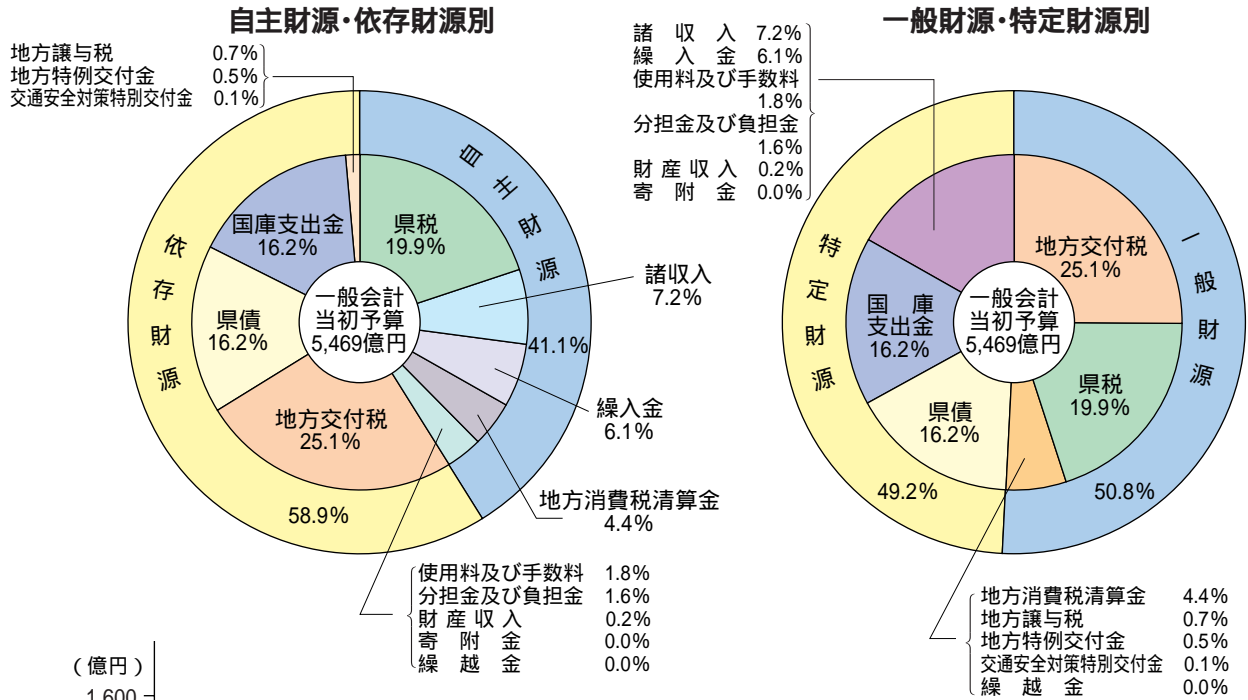


必要とするお金はどうやってまかなうのですか。

一般会計歳入予算



(注1) 端数処理のため、内訳が合計に一致しない場合があります。  
 (注2) 平成15年度当初予算の数値は、借換債除きで、地方道路整備臨時交付金を国庫支出金として整理したものです。

歳入のうち県税の割合は19.9%となっています。

また、自らの手で調達する自主財源の割合は41.1%、使途が特定されていない一般財源の割合は50.8%となっています。

**県税**は、企業収益の増加による法人関係税の増などから対前年度比1.9%の増を見込みました。また、地方消費税の清算金を加えた**実質県税**は、2.0%増と見込んでいます。

**地方交付税**は、総務省の指針等に基づき5.8%減を見込んでいます。

県の借金である**県債**は、対前年度比14.1%減と大幅に減少しましたが、これは、臨時財政対策債が国の方針により大幅削減（29.3%減）となったことに加え、社会資本の整備水準の向上に伴い投資的経費を抑制したことにより、通常**の県債も抑制（4.0%減）**したことによるものです。

## ひとくちメモ

### 自主財源と依存財源

県が自らの手で徴収または収納する財源を自主財源といい、国から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする財源を依存財源といいます。

### 一般財源と特定財源

使途が特定されていない財源を一般財源といい、国庫支出金や県債のように使途が特定されている財源を特定財源といいます。

### 地方消費税清算金

地方消費税は消費地と課税地が一致しないため、これを都道府県間で調整をする必要がありますが、これを行うのが地方消費税清算金です。

### 実質県税

県税に歳入・歳出相殺後の地方消費税清算金を加えたもので、**県税の実収入**といえるものです。

### 地方交付税

地方公共団体の自主性を損なわずに、地方財源の均衡化を図り、かつ、必要な財源を保障するため、各地方公共団体ごとに標準的な需要額と収入額を算定し、財源不足額が生じる場合に国から交付されるもので、その財源として国税五税の一定割合（所得税、酒税は32.0%、法人税は35.8%、消費税は29.5%、たばこ税は25.0%）が充てられています。

### 県債

県が道路などの社会資本を整備する際に、その財源として資金調達する債務のことで、債務の履行が一会計年度を越えて行われるものを指します。

いわば県の借金にあたり、後年度に負担が生じますが、耐用年数の長い社会資本の整備については後年度の世代もその恩恵を受けることから、**県債を活用することは現世代の負担の軽減を図るとともに、世代間の負担の公平化を図る効果**もあります。

### 臨時財政対策債

臨時財政対策債とは、国の交付税特別会計の財源不足に対応するため特例として地方が発行するいわゆる赤字地方債で、その償還額全額が交付税で措置されるものです。